



# 11月の予定

月主題 月のねがい

2021年10月5日  
野毛山幼稚園

今月の聖句

わたしの恵みはあなたに十分である。

コリントの信徒への手紙2 12章9節

人は誰でも欠点や嫌なところがあると思います。完璧な人間はいません。人間は神さまと違って不完全な存在です。もっと〇〇が良くなりたかったとか、〇〇が上手くなりたかったとか思うこともあると思いますが、しかし、神さまは「わたしの恵みはあなたに十分である」と言われます。あなたは今のままで大丈夫だと言っておられるのです。人間は弱い部分があることで、謙虚になることができます。自分が完璧な存在だったら、傲り高ぶりたくなるかもしれません。また、弱いからこそ互いに助け合うことができるし、他人の弱さに寄り添ってあげることもできるのです。それこそが人間の真の強さだと言えます。人は弱さの中でこそ、力を発揮し強くなれるのです。この手紙を書いたパウロはパウロがいなければ、キリスト教はなかった…と言われるほど素晴らしい伝道者ですが、主に出会うまではキリスト者を迫害する者で、数え切れないさまざまな苦難にみまわれました。そんなパウロに対して神さまは、『わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである』と言われたのです。そしてパウロは『私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう』と答えています。私たちは弱いところがたくさんあります。もし、周りが、親が、兄弟がいつも完璧であろうとしたら、生き詰まってしまったり、それに応えようと無理をした子どもになってしまいます。パーフェクトでなくていいのです。弱いときにこそ、強いのです。



主題	年少スイトピー組	年中コスモス・年長アネモネ組
深める	秋から冬への自然を五感を通して感じながら、神さまからのたくさんの恵みに感謝する。	成長させてくださる神さま、実りの時をくださる神さまに感謝する。
	体験したことを、ごっこ遊びやもの作りなどで再現して楽しむ。	自分で感じ想像し工夫し、作ったり表現したりすることを深める。
	葛藤を感じる場面で、保育者や友だちに想いを表し、共感してもらったり、自分で折り合いをつける経験をする。	友だちと心を合わせ、相談したり、アイデアを出し合ったり、思いの違いを調整しながら喜んで遊ぶ。

## 予 定

日	曜	予 定	備 考
1	月	令和4年度(2022年度)入園願書	休園
3	水	文化の日	休園
5	金	ちょっと一息コンサート	ひつじ会行事
11	木	11月誕生会	
17	水	感謝祭礼拝(年少スイトピー組)	保護者 9時 礼拝堂
		感謝祭礼拝(年中コスモス組)	保護者 10時30分礼拝堂
18	木	感謝祭礼拝(年長アネモネ組)	
23	火	勤労感謝の日	休園
29	月	アドベント礼拝	9時
30	火	アドベント礼拝とクリスマス親子工作	9時集合 年長アネモネ組

ランチ 10日(水)・17日(水) ランチあり  
11日(木) 午前中保育



年 少(スイトピー組)	年 中(コスモス組)	年 長(アネモネ組)
楽しく歌ったり、楽器遊びをしたりする。	思い切りからだを動かして遊ぶ。	相手の意見を取り入れながら遊ぶ。
簡単なルールのある遊びを楽しむ。	みんな一緒にの楽しさを知る。	自分の意見を相手にわかるように伝える。
友だちと一緒に楽しむ。	身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。	役割を持ってさまざまな活動に取り組む。
身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。	自然の恵みに感謝する。	秋の自然に触れ、変化の美しさや不思議さに気づき、そこにある神さまの力を知る。
わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。	わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。	わたしたちのまわりには、私たちのために働いてくださっている方がたくさんいることを知る。
何かしてもらった時はありがとうと言える。	ありがとうが心から言える。	感謝の気持ちを持つ。
感謝祭の礼拝を心からささげる。	感謝祭の礼拝を心からささげる。	感謝祭の礼拝を心から行う。
たくさんの本や紙芝居に親しむ。	絵本やお話を読んで、喜んだり、関心を持ったりする。	神さまからの最大の贈り物イエスさまのお誕生をどのように迎えるかを考える。
クリスマスはどんな日かを知る。	たくさんの本や紙芝居に親しむ。	アドベントを迎えるためにどうするか考える。
クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。	クリスマスの準備を少しずつ始める。	楽しく歌ったり、踊ったりする。
	クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。	たくさん本に親しむ。